

# 都道府県金融広報委員会 事務局員の活動紹介

## 親子で楽しく 学ぶ金融教育！

富山県金融広報委員会  
大里 祐子

富山県金融広報委員会では、学校、公民館などで、小学生と保護者を対象とした「親子マネー講座」を積極的に開催しています。

まず、私が「お金の役割とひみつ」をテーマに、「買い物をするときはほしいものと本当に必

要なものに分けてみるが大切」「お金は夢や希望をかねるために正しい使い方をしよう」などをポイントに話します。ただ聞くばかりでは子どもなどが飽きるので、「お金に関するクイズ」を出題します。1億円の重さを当てる問題では、子どもたち

ちに模擬券パックを実際に持ってもらいますが、みんな我先にと集まり、一番盛り上がりです。

また、お札の偽造防止技術について、拡大鏡などを使って紹介して楽しく学んでもらえるように

心掛けています。次に、アドバイザーが独自に作成した「おこづかいゲーム」に移ります。各種イベントを仮想体験しながら、自分で考え判断し、1カ月分のおこづかい帳をゲーム感覚でつけてもらいます。

これは、子どもに自ら行動できる力を身につけ、計画性のあるお金の使い方を学んでもらうことを目的としています。

ある講座が終ったとき、私のもとに一人の子どもが走ってきて、「すっこく面白かった」。ありが

## 望まれる講座を 届けたい

三重県金融広報委員会  
丸山 美枝子

「健康に良いこの商品が欲しい人〜」「ハーイ」会場に大きな声がこだまします。

実際にモノを売っているのではありません。高齢者対象の消費生活講座の一幕です。三重県金融広報委員会では、金融広報アド

バイザーの無料派遣を事業の中心として活動をしています。アドバイザーが行うロールプレイングでは、事務局員が悪質業者や被害者になって場を盛り上げます。和気あいあいとした雰囲気の中、悪質商法の手口と対処法に関して話が進んでいきます。

高齢者対象の講座は、消費生活だけでなく、相続、シニアの医療保険、年金など幅広いテーマで数多く開催しています。受講者の皆さんは、向学心を持って参加され、次はこんなお話が

聞きたい、こんな先生に聞きたいなど希望も寄せられます。要望を吸い上げ、望まれる講座を必要とされている方に届ける、これが事務局員の仕事だと思っています。

事務局員は営業マンにも事務員にもなります。講座を増やすため、金融教育に取り組んでいたため、県内どこへでも説明に参ります。アポを取って出かけますが、知名度の低さから悲しい思いをすることもあります。しかし、私たちの活動を知っていただく

チャンスとポジティブに捉えて頑張っています。子どもから高齢者まで、くらしに身近な金融の知識を身につけていただくために…。

とう！バイバイ」と笑顔で手を振ってくれました。このような場面に遭遇すると、この仕事をやっていてよかったですと実感します。これからも一人でも多くの子どもたちに「お金の役割や大切さ」を楽しく伝えていくことが私の使命だと思っています。



「親子で学ぶおかね教室」の様子



「親子マネー講座」の様子